

社会保障カード(仮称)を巡る最近の状況

厚生労働省政策統括官付社会保障担当参事官室

安心実現のための緊急総合対策(抄)

平成20年8月29日
「安心実現のための緊急総合対策」に関する
政府・与党会議、経済対策閣僚会議合同会議

第2章 具体的施策

2. 医療・年金・介護強化対策

(1) 医療の安心確保

(前略)

また、平成23年度中を目途に実現することとされている社会保障カード(仮称)について、実現に向けた環境整備を行う。

〈具体的施策〉

(前略)

- 社会保障カード(仮称)の実現に向けた環境整備
 - ・実証実験の早期実施
 - ・自らの健康情報や年金情報をオンラインで安全に閲覧できる環境の整備

持続可能な社会保障構築とその安定財源確保に向けた「中期プログラム」(抄)

平成20年12月24日 閣議決定

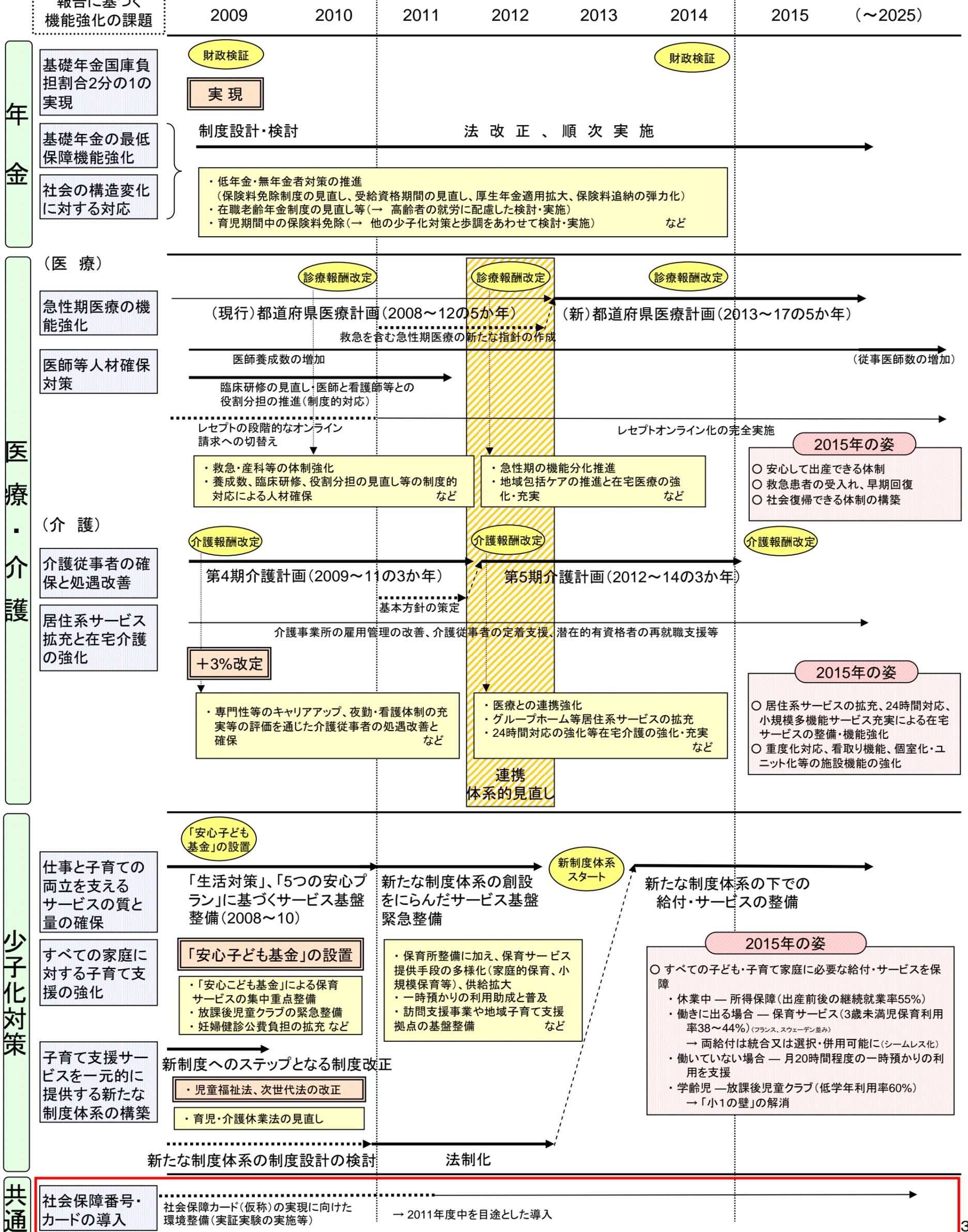
Ⅱ. 国民の安心強化のための社会保障安定財源の確保

2. 安心強化と財源確保の同時進行

国民の安心強化と持続可能で質の高い「中福祉」の実現に向けて、年金、医療及び介護の社会保障給付や少子化対策について、基礎年金の最低保障機能の強化、医療・介護の体制の充実、子育て支援の給付・サービスの強化など機能強化と効率化を図る。このため、別添の工程表で示された改革の諸課題を軸に制度改正の時期も踏まえて検討を進め、確立・制度化に必要な費用について安定財源を確保した上で、段階的に内容の具体化を図る。

社会保障の機能強化の工程表

「社会保障国民会議中間報告」「同最終報告」に描かれた姿を基に作成



社会保障国民会議 最終報告(抄)

平成20年11月4日 社会保障国民会議

2 これからの社会保障 ～中間報告が示す道筋～

3 社会保障の機能強化のための改革

(6) セーフティネット機能の強化

社会保障制度が持つリスクヘッジ機能の強化、適時適切なサービス提供の実現という観点から、①高額療養費制度の改善(現物給付化など)、②低所得者対策の見直し(制度横断的な改革)を行うべき。ITの活用や社会保障番号制の導入検討を積極的に推進すべきである。

3 中間報告後の議論

(1) 低所得者対策

(前略)

低所得者対策として各社会保障制度ごとにきめ細かく負担軽減策が講じられているが、制度ごとの体系がバラバラであり、複雑である。国民の視点からみて、分かりやすく利用しやすいものとするよう制度を見直し、各制度の担当者が相互理解に努めるとともに、制度横断的視点に立って、ワンストップサービスなど手続きの簡素化や負担の軽減、必要な事務の効率化のための基盤整備(社会保障番号・カードの検討等)を進めるべきである。

5 おわりに ～国民会議からのメッセージ～

(前略)

今後、社会の高齢化が進み、負担の増加が避けられない中で、社会保障の機能を強化し、同時に安定的な持続できる制度にしていくためには、大胆な制度改革が不可避であり、そのような改革を実現していくためには、サービスの利用者＝受益者であり、同時に負担者でもある国民が、文字どおり当事者として議論に積極的に参加し、国民の目線で議論を進めていくことが必須である。そのためにも、社会保障制度を、より分かりやすく、利用しやすいものにしていくとともに、社会保障に関する情報・データの開示、国民一人一人のレベルで社会保障の給付と負担を分かりやすく示すための社会保障番号制の導入検討を、国民の合意を得ながら積極的に進めていくことが必要である。

(後略)

平成21年度政府予算案(社会保障カード(仮称)関係)

社会保障カード(仮称)の導入に向けた検討

社会保障分野におけるICカードの利活用に関する検討を更に推進する。

3. 9億円 (H20年度 2. 1億円)